PEACH-PIT

ローゼンメイデン

YJ ヤンジャン YJC

ローゼンメイデン 7

PEACH-PIT

集英社

9784088793702

ISBN978-4-08-879370-2

C9979 ¥600E

1929979006006

定価 本体600円+税

雑誌 44272-70

学校で倒れ、深い眠りに落ちてしまったジュン。
ジュンの幼なじみ・柏葉巴は原因を突き止めようと
転校生・柿崎めぐを問い詰める。
いっぽう、金糸雀のマスター・草笛みつの前に
薔薇乙女とは異質な人形が現れて!?
ドールのマスター達を巻き込み、物語は加速する…!

YJ
ヤンジャン
YJC

ローゼンメイデン
7

ローゼンメイデン 7

contents

TALE 38 胸さわぎ ... 3

TALE 39 疑惑 ... 32

TALE 40 白い悪魔 ... 61

TALE 41 別れ ... 89

TALE 42 絶望と希望 ... 121

TALE 43 平穏な日常 ... 149

TALE 38

ふう
はあ
みっちゃんたら
今日も真紅たちと
集合って言ったら
はりきってしまって…
みんなの分の
お弁当まで…ひぃ
うぅ重い…
まったくこれは
nのフィールドの探索
であってピクニックじゃ
ないかしら…
さっ
ついたかしら
ピチカート
みんな
おまた
せ…

たっ大変
大変ですう
僕たちも
何かできる？
はい…はい！
わかりました
すぐ向かいます
どどどうしますかのり
何がいるですか!?
ホータイおくすり…
バっ
バナナは!?
おちついて
翠星石ちゃん
きっと大丈夫よ
とりあえず
着替えとタオルを
入院になるかもしれないから
……
な…なに？
みんなあわてて
どうしたのかしら？
金糸雀…
今日の探索は
どうやら中止ね
ジュンが学校で
倒れたの

大学病院

申し訳ない！
う…梅岡先生
そんな…
これも私の
監督不行き届き
のせいです
なんとお詫び
申し上げたら
よいのか…！

階段で倒れていた
桜田くんが見つかったのは
放課後になって
からでした
午後の授業に
出てこないので おかしいと
思ったんですが…

おそらく階段で
転んで頭を強く
打ったんでしょう
意識が戻らず…
足にも打ち身の
ような痕が
見つかりました
そう…ですか

本当に…
…ぐっ…
ぼろ
ぼろ
ぼろ
せっ先生!?
痛かっただろう
なぁ…悔しかっただろう
あ…あの
先生…
俺が…俺が
しっかり見ていれば…
桜田…せっかく
先生に心を開いて
学校に出てきてくれた
っていうのに…
その矢先で
なぜこんなことに…
なんですかアレ…
まるでジュンが
死んだみたいに…
桜田アッ…
たぶん泣きたいのは
ジュンくんの方
だろうね……

学校とご家族の方…よろしいですか？精密検査の説明が
あっ…はい
よし…いけそうですよ
こっちこっち
ジュンの様子は…？
パカ
……
……
…どう？

だめです…ジュンの
夢の入口が
見つかりませんね
夢を見ない
深い場所で
眠ってるんだ
まるで死に
近いような…
そっ蒼星石まで
縁起でもないこと
言うなですよ

前にも こんなことが
あったわ
ジュンが無意識の海で
溺れて迷子になりかけた
あの日…
初めて雪華綺晶と
会ったのも
あの日だったわ
えっ
ただ…
それは
推測でしか
ないわ
あの時だって
ただの事故の
ようなもの
だった
じゃっじゃあ
今のこれも
雪華綺晶の
しわざかしら?
また
マスターを
狙って…

偶然にしても
故意にしても
こうなったことには何か
きっかけがあったはず
学校で一体
何があったと
いうのかしら…
……
あの日…
ラプラスに
見せられた
鏡の向こうの幻影…
まるで…
このことを
予見してた…？

もう何日になるかしら…
めぐを探してnのフィールドを彷徨い続けているけれど
あの子も雪華綺晶も影すら見つからない…
……
あの日…
イーーー
ミーーー
マイーーーモー
失せもの
消えもの
探しもの
そーっと覗いてご覧なさい…

あれは…
めぐ…？
あの人形…？
それにめぐの
あの服…
！
これは
一体…
マスター…

…？
あの時の違和感…
蒼星石も私と同じ幻を見ているとばかり思ったけど…
もしかして何か別の…？

「マスター」…
蒼星石のマスター…
あの人間？…いいえ…ちょっと違う…

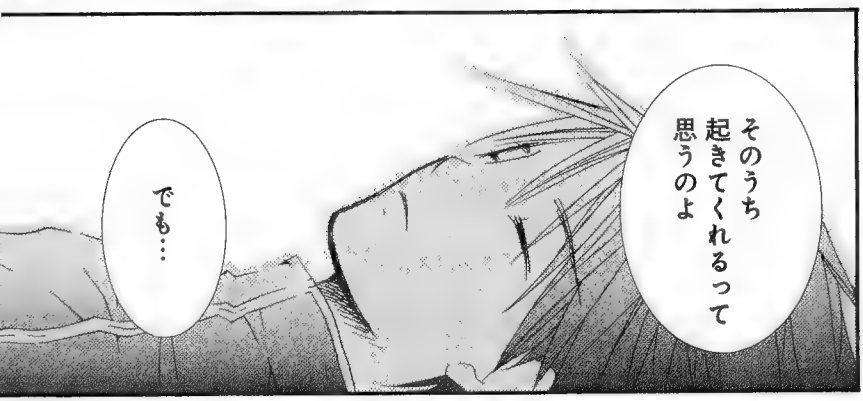
まいた世界の桜田ジュン…
私のマスターめぐの幻
そして雪華綺晶はドールよりもマスターを狙う…
……
ぴた

——もしかしたら
私は
とんだ見過(すご)しを
しているのかも
しれないわ
——行くわよ
メイメイ

ナースステーション
あの…
桜田ジュンくんの
部屋は…
桜田さん…？
あの子じゃない
ほら
急患の男の子
めぐちゃんのいた
病室の…
ああ！
はい
桜田さんに面会ね
じゃあ ここに
お名前を…
……
3 1 6
桜田ジュン
失礼します
あら…

巴ちゃん！
来てくれたの
ごめんなさい
病院の場所が
わからなくて…
そうですか
ずっと眠ったまま…
うん…でも とりあえず
命に関わるような
状態ではないから
念のため 今夜
様子を見て 明日また
精密検査しましょうって
あっ
座って？
はい…
さっきまで
真紅ちゃんたちも
来てたのよ…でも
ずっと側にいても…ね
……
あの…
ごめんなさい
え
私がもっと
ちゃんと……
ついていて
あげられれば

やだわ…先生といい
巴ちゃんといい…
仕方ないわ きっと
何かの事故だもの
……
お医者さまがね…
「精神的なものの可能性もあるから」…って
確かに…
ジュンくん こういうことはじめてじゃないから…


そのうち
起きてくれるって
思うのよ
でも…

何があったかは
聞けないなぁ…

ジュンくん
…すごく
頑張ってたから…
…ねえ巴ちゃん
学校で何か…
変わったことなかった？
お友達とケンカ
したりとか…
…それは…

私の目から見て
落ち込んでいたような
ことはありませんでした
ただ…朝
教室で少し
トラブルがあった
みたいで
トラブル…？
私は
部室に寄ってて
その時は居合わせ
なかったんですが…
ちょっとした誤解
だったとか……でも
すぐ解けたみたいで
私が行った頃には
桜田くんもみんなも
普通になってました

そう…
……
あのね…ジュンくん
倒れてたのって
屋上にむかう
踊り場だったの
屋上の扉も普段は
鍵がかかっていて
生徒さんもあまり
近寄る場所じゃなかった
みたい
ジュンくんのそばに
これ…メガネが
壊れてて……
転んだにしては…って
誰かと話してる声を
聞いたって人も
いるし…
本当に一人
だったのかしらって…
……
巴ちゃん…
心あたりある？
…いえ
…でも もしかしたら
何か知ってる子が
いるかもしれない
明日 クラスの子
にも聞いてみます
…ごめんなさいねぇ
ありがとう

どう思う？
真紅
そうね…

末妹の仕業である
可能性も
捨てきれないわ
探索も少し
慎重に
進めなくては…

よし！ さっそく
乙女会議
です！
…でも…

私たちが こうして
いつも集まっていたら…
マスターはこれから
どんどん狙われて
いっちゃうんじゃ
ないかしら…

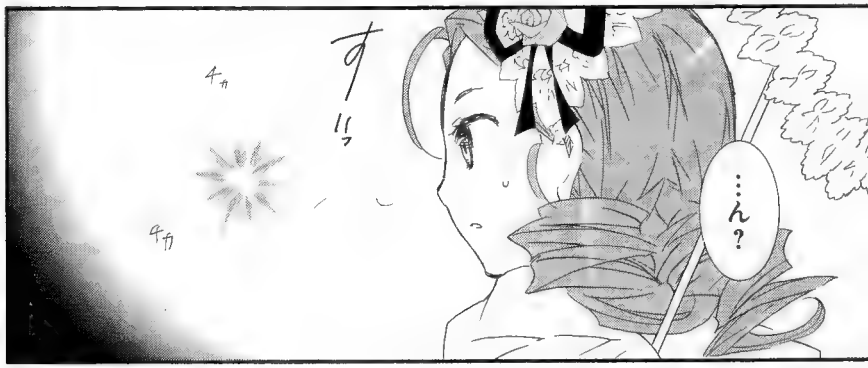
だから
そーなる前に
みんなで力を合わせて
戦うですよっ
まかなかった世界でも
それで切り抜けた
じゃないです？
そうだけど…
かしら
ほれ見ろ
ですぅー

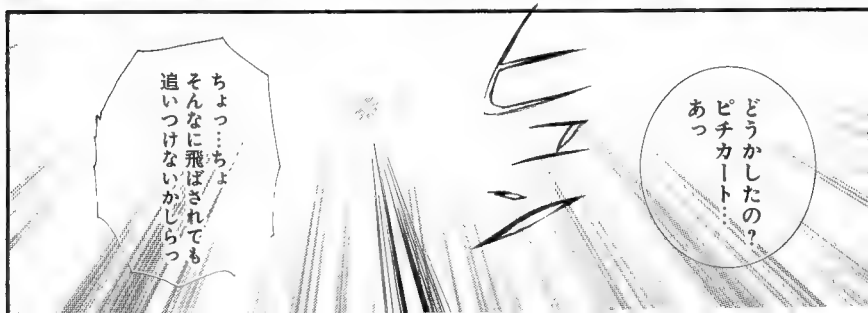
……
金糸雀…？
大事な話の最中だけど
…帰るかしら
もうじき
みっちゃんも
戻ってくる時間だし
…そうね
今日はもう遅いわ
貴女(あなた)から
みっちゃんさんに
ジュンのことも話して
おいてくれるかしら
しっかり伝えるですよ
こういう時は連携が
大事なんですっ
気をつけて
金糸雀
……
わかったかしら…

お弁当…食べてもらえなかったかしら…
…ううんそれより今はジュンのこと…

…はふ…

なんだか今日は帰る足が重い…かしら
実際すごく重いんだけど…


…ん？

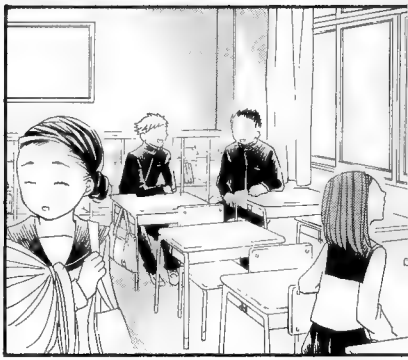

どうかしたの？
ピチカート…
あっ
ヒュン
ちょっ…ちょそんなに飛ばされても追いつけないかしらっ

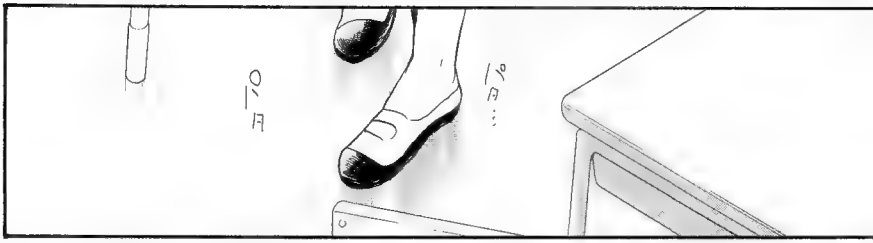
ピチカー…
…ッ…
えっ？
何かしら…
この胸さわぎ…
……
…！
ガバッ
みっちゃん…

カナ
遅いなぁ…
予定より早く帰って
ビックリさせようと
思ったのに～
ピクニック
長引いて
るのかな？
お弁当
喜んでもらえた
かしらね――？
…ん？
このドレス…
どうもコルセットの
絞りが甘いわ…
もうちょっと詰め
たいけど…
夕飯作んなきゃ…
……
あれ…？
……
あ――っもう
気に入らない
やっぱブサイク！
あとで変身させて
やるからっ
待ってなさいねっ

……んん？
…この子…
前から
居たっけ？
いつ お迎え
したのかしら…
…
…んん？

てゆうか私
こんな人形
持ってた…？
ポタ




パタ…
パタ

あの…
いいかな

…私？
なあに？
委員長さん

TALE 39

ピチカート
早く！
嫌な予感が
するかしら！
キャあああッ
!?
みっちゃ…
ッ…!?
何？
今の影…
みっちゃん!!

カナ？
みっちゃん！
良かった……
えっ!?

この血…！
みっちゃん!? 一体
何があったのかしら!?
お…
お人形が…
人形…？

すっ…
水銀燈(すいぎんとう)!?

カナ…
……
ピチカート…
どういうことかしら
水銀燈…
いくら貴女でも…
あっ待って
カナ
みっちゃんは
下がっていて
違うのよ
その子じゃないの
誤解だから
えっ…
その子は
何もしてないの
本当よ
キィ…

つい
さっきのことよ
うちの人形(子)達の
中にまざって——
見覚えのない
お人形を見つけて
抱き上げようと
手を伸ばしたら…
いきなり
ガブ！って
噛(か)みつかれて
ガブ!?
大丈夫よ
かすりキズだから
で…とっさに
動けないでいたら
今度は
クローゼットから
別のお人形が
現れて…

それが銀ちゃんだったの…ね？
なんであれずっと入ってるのかしら…
ちょっと水銀燈こっちに出てきなさいかしらーっ
…相変わらずピィピィうるさい
ちょっと出る場所を間違っただけよ…

nのフィールドからまいた世界に戻ってはきたけど
どうも妙だわ…一度目の出口は別の場所に繋がって
二度目は何故だかここに出た…ってわけ
その人形って…水銀燈も見たのかしら？
まさか雪華綺晶…
——いいえあれは彼女じゃなかったわね
じゃあ誰…？
その人形は私が現れたら姿を消したわ
予定外のことだったのかもしれない

さっきすれ違った
あの影…
……
マスターが人形に…
襲われた…
乙女(ドール)じゃなくマスターが
真紅たちは
ああ言ってたけど
やっぱり…
このままじゃ
みっちゃんも…
それにしても
こんな形で初めて
会えるなんて…
銀ちゃん？
スゴーイ
キレイな子ねー
この子があの噂の
第一ドールちゃん…
すすす
みっちゃん
いつのまに
聞合いをっ
高級な猫
みたいだわぁ——
みっ みっちゃん！
その子はちょっと
気難しいかしらっ
まちがっても
スリスリは…
じり
だ…大丈夫
見るだけ
見るだけ…

アウッ…
だめっ
直視できない
その子 目をそらすと
負けと思ってる
から…
これは…
うかつに手を出せない
危険領域だわ

ああでも本能はダメと
知らせても……
命にかえてお触りしたい
抱っこしたい……ッ
マスターの
みっちゃんは
あの…ちょっと
マニアさんなのかしら
私の一番
嫌いな人種
じゃないの
それで みっちゃん
さっきの話の
続きだけど…
あっ そうそう
お人形のことね

あの人形は
カナたちとはまるで
違ったわね
同じように動く人形
ではあったけど
ううん…そうね
存在そのものが
全く別種というか…
うまく言えないけど
異質な感じ
異質って
どんな…？
ん――…
なんとなく感じた
だけだけど
なんだろうなー
あの違和感…
そうね……
しいて言えば
国内メーカーと
国外メーカーの違い？
造形とかメイク的に…

あっ あと目は
グラスじゃなく多分
シリコンアイね！
ウィッグもちょっと
変わった材質だったから
モヘアかも…
関節はどのタイプ
だったかな…
ブツブツ
みっちゃん
襲われた一瞬で
そこまで…
さすがかしっ
嫌いだわ…
ゾッ…
そうそうカナ
あとはあなたの話を
聞く番よね
そのお弁当 今日は
みんなと食べられなかった
みたいだけど…
何かあった？
ジュンくん？
そ…
そうなの
実は……
あの……
ジュンが…
知ってるわ
眠ってるんでしょ
え？
これも知ってるわ
あれは病室って
場所でしょう
え…？

私のマスターは
白い部屋に住んでたの
…もう長いこと
白い壁に
白いベッドの
監獄みたいな
小さな部屋にね
でも そこに
もう めぐは
いなかった…
ベッドには代わりに
あの子…真紅の
マスターが眠っていたわ
まるで閉じこめられた
部屋の主だけが
入れ替わったみたいにね
ジュンくんが…
病院に？
入院してるって
こと…？
はじめは戻る世界を
間違えたのかと
思ったわ
それから正しく
あの子に繋がる
扉を探していたら
ふん…
マスター違いで
ここに繋がったようね

ここは確かに
「まいた世界」だわ
誰も
知らないお人形
でも…
何かがおかしい
何かが狂い始めてる
白い部屋から
消えた主と
繋がれた主——
まるで異物が
紛れ込んだ
ようにね
水銀燈…

とりあえず あの…
お弁当食べない
かしら？
……はぁ？
金糸雀…貴女ね
今の話聞いてた？
聞いてたけど
おなかが空いていては
いい策も浮かばないわ
こんな時こそ まず
おちつくかしら！
それもそうね！
さすがカナ――
何…？
いいからいいから
銀ちゃんも一緒に
ゴハンしてって
たくさんあるし
色んなことは
それから考えましょ
こういう時こそ
食べよ 食べよー
ちょっ…
なんなのよ
触るんじゃ
ないわよ
みっちゃんのお弁当は
絶品かつ
アートなのかしらーっ
貴女たち
そんな場合じゃ…
ちょっ
聞きなさいよ！
このドールとマスター
いつもこうなの？
おにぎりは
俵型なのよー
ニルは
チリソースかけて
たべてー
やったー
たまごやき
張良かこう
……
私のマスターは…
今ごろ
どこでどうして
いるのだか…

あの…いいかな
柿崎さん
私？
なあに？
委員長さん

めぐちゃん
なに…
どうしたの？
柏葉さん…？
あっ大丈夫
気にしないで
…ね？
ここで
していいお話？
それとも
秘密の…？
そうね
じゃあ…

立入禁止って
本当にこんな風に
するんだぁ
立入禁止

禁止

わあ……
すごーい
ドラマみたい
じゃない？

ここ…ジュンくんが
倒れてたんだってね
心配だよね
早く元気になって
くれたらいいけど…
…何を
知ってるの？
え？
知ってるんでしょう？
ここであったこと…
なぁに？
教えてほしいの
あの日
桜田くんに
何があったの…？
何が…って？
どういうこと
私だってクラスの
ウワサで
聞いただけだし
どうして私が
知ってるって思うの

転校してきた日に
あなた桜田くんに
会いに来たって
言っていたでしょう
それに
桜田くんが運ばれた
あの病室…
前に入院していた
のは柿崎めぐさん
という女の子で
長くそこで療養
していたそうだけど
これは全部
偶然なの？
あなたは何の目的で
ここに来たの…？
彼をどうする
つもり？

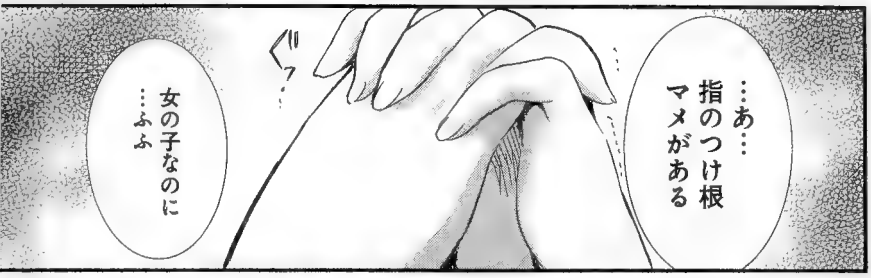
——ふふ
委員長さんて
ほんと
マジメ……
全部真正面に
受けとめて一人で
考え込んじゃう
だからこそ
甘えっ子の人形に
なつかれたりする…
人形…？
死にそうに
なってまでね
…？

ねぇなんなの
さっきのアレ…
柏葉さん
呼び出しとか
かんじ悪くない？
めぐちゃんかわいそう
せっかく学校これたのに
なんか色々…
そういえば朝から
聞きまわってたよ
何を？
あっ俺も聞かれた
うわばき騒動の
桜田のこととか—

私もね…
委員長さん？
ふふ
お人形を
持っていたのよ
黒い人形…
私だけの
黒い天使
でも今は違う
今持っているのは
白い人形…
黒い天使は　もういない
白い子は…白いけど
天使じゃないの
止
ちょっと待って
人形って…
だって誘惑
するのは
悪魔でしょう？
立入禁止
昔から　そう
決まってるもの
…何を…
言っているの？

捕まえた…!
それで私は
白い悪魔の
手を取ったの
少しだけ命を
もらって…
そのかわりに……
やめて…
危ないわ
ロープが…
そうね
じゃあ
手を貸して
とっ

…！
私は あの子の
欲しいものを
罠にかけて…
捕まえて
持っていってあげる
そんな約束を
したのよ


…あ…
指のつけ根
マメがある
女の子なのに
…ふふ

悪魔との約束なら
契約っていうのかも
しれないね
でも それは
もうしないの
なに…？

死が二人を別つまで
契約はただの
一人とだけ……
それが契りって
ものでしょう？
……

白い悪魔は
とっても欲しがり
でね…
マスターの命は
みんな欲しいん
ですって
でも私 それは
ちょっと残念に
思うのよ
メガネ君はともかく
あなたとは
いいお友達に
なれると
思ったから…
ね…？
いやっ…

たたっ
たたた…
あの子は
何!?
今のは
なんだったの
すっ
すぅ

何…!?
はあっ
はあ…
柏葉さん

めぐちゃんは？
どうしたの？
何一人だけ
戻ってきてる
んだよ
ちゃんと答えろよ
どうなってるの？
糸…
この糸は…!?

TALE 40

いてるじゃない
ぐちゃん
ここにいるの？
クラス委員
だからって
勝手なこと……
柿崎さん
かわいそう
糸が――
みんな
繋がれて……
どうして…!?
おい
答えろよ
ねぇ
ねぇ

ねえええええええ～～～
…ッ…
たっ
たっ
たっ
たっ
ガラッ
ガラッ
え…
え…？

苗床…？
さ…桜田くんも
そうなのね…？
桜田くんのことも
苗床にするために…
まさか こんな風に…
…ふふ
安心して
別に乱暴なことを
したわけじゃないわ
そんな男の子みたいな
やり方はしなくっ
たってね……
ねぇ巴ちゃん
私ね
男の子って
大嫌い
だって
馬鹿で
いやらしくて
野蛮でしょ
だから うんと
痛めつけて
やった
だけなの
だからって
男の子みたいに
ぶったり
蹴ったりなんか
しなくていいの
わかる
でしょ？
女の子はもっと
深くて痛いトコロを
的確に突けるの

奥の奥の
やわらかい
トコロを
抉って
罰を与えて
やったの
男の子なんかに
生まれてきた
罰を――
!?
――あなたも

罰が必要？

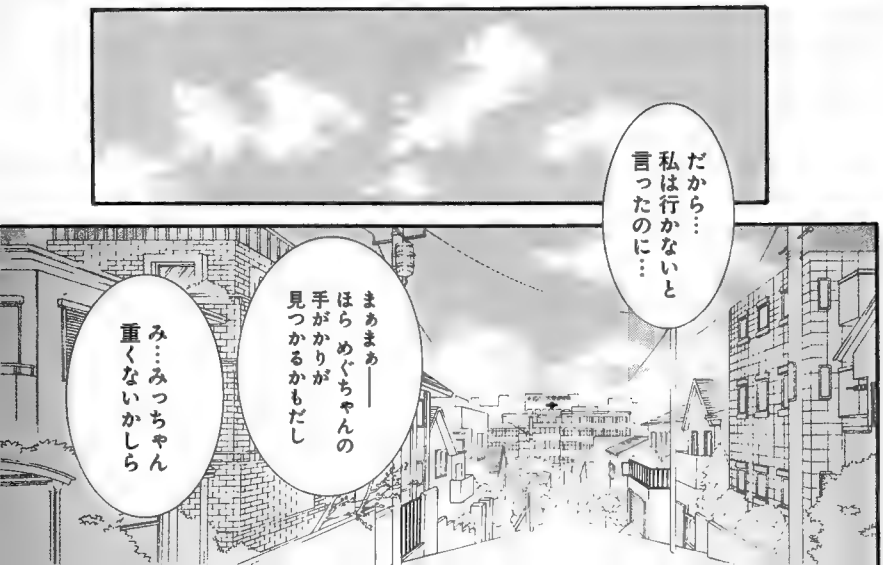
青嶋川大学病院
あれ？この廊下さっきも通らなかったです？
しっ…静かに
どの階も構造が似ているからわからないわ
まったくもう…まさか入る窓を間違えるなんて…
ジュンの部屋どころか知らない老婆が寝ていてびっくりしたのだわ…
まぁおばあさんが寝ぼけてたのが救いだったね…
しっ仕方ねーです病院てのはどれも同じような窓ばっかりで…
とにかく急ぎましょう
ジュンがああなった以上どんな想定外のことが起きるかもわからないし
彼に何かあってもドールはマスターのそばにいなければ盤石に力を発揮できないのだし…
あっ

は――…
あぶねーとこだったです
ちょ…
重くてよ翠星石
貴女 近頃過食乙女なのではなくて…
ふふ
な…
何がおかしいです
蒼星石
ちょっと昔のこと思い出してた
二人でいた頃 君よくこうやってかくれんぼしてたね
えぇ…そ…
そうでしたっけ
うん…まぁ君が一方的にやってただけとも言うけど
いつも僕を驚かそうとして隠れるんだけど気付かないふりしてると涙目で出てきて……
アレわかってやってたですかちょっとー!
S星石(エス)!
いやそれだと君も
ほら行くわよ貴女たち
まったくこれでは まるで遠足的な…
…あら…?

ベリーベル…？
ジュンの病室を見つけたのかしら？
おっでかしたですよ
僕たちもついていってみよう
…随分急いでいるのねベリーベル
どうしたのかしら…
あんまりあわてるとからまるですよ
え…？

……
この建物に
こんな長い廊下が
あったかしら…？
とにかく
急ぐですっ
待って
翠星石
気をつけて…

何か
来る…！
カタ
カタ


だから…
私は行かないと
言ったのに…
まぁまぁ——
ほらめぐちゃんの
手がかりが
見つかるかもだし
み…みっちゃん
重くないかしら

大丈夫よ――
これは愛の重さ…くっ
ごめんね二人とも
三脚ケースなんかに
インで…さすがに
お見舞いで抱っこは
できなくて
よた
よた…
……
がんばってー
あとちょっとーっ

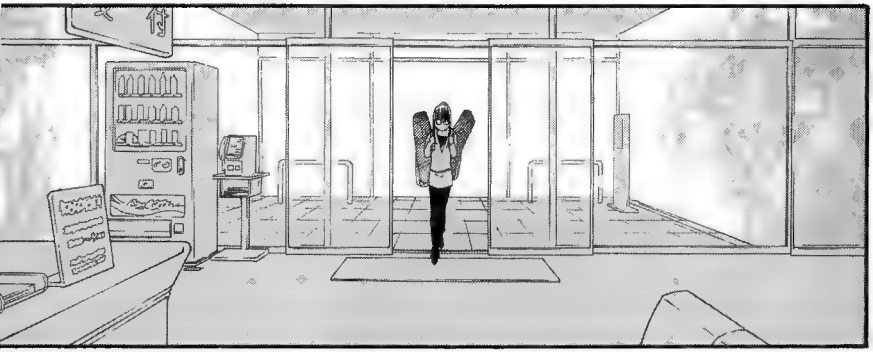
基本的に
人の話を聞かない
主従ねぇ…
みっちゃん
会社お休みして
大丈夫だったの？

カナのためなら
有休くらい…
なんてことないわよー
ちょっと
イヤミ
言われたって

ほんとは毎日ずっと
カナと一緒に
いたいんだけど…
会社だかなんだか
知らないけど
労働に煩わされるなんて
いかにも人間よね
ふぅん…

もー銀ちゃんたら
社畜乙とか
言っちゃう？
そんなところも
たまらな――いっ
みっちゃん
キュン殺パラディーソ！
みっちゃ…
苦し…

さて…
おしゃべりは
ここまで
人目のある所だと
みっちゃん独り言の多い
人と思われちゃうから
今日のメインは
ジュンくんの
お見舞いだからね
はぁ…一人でしゃべってたくせに…



…あれ？
誰もいない…？
平日の病院って
こんなに
空いてたっけ…
えーと
ジュンくんの
病室は…
チーン…

えっ…？
これ…人工精霊…
ベリーベル!?

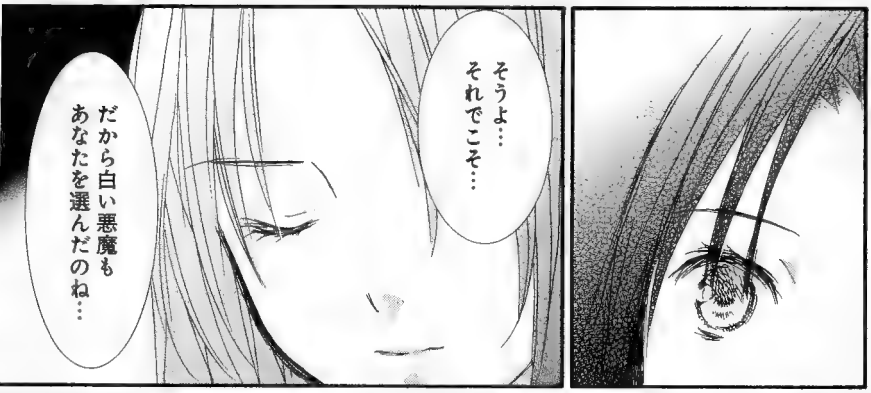
ベリー…？
雛苺の人工精霊かしら！
ろいよ
ろいよ
ということは真紅も近くにいるのね……
追いましょう水銀燈！
…誰に指図してるのよ…
だって何かヘンかしら！
真紅とは居合わせたくないのよ
そんな事言ってる場合じゃないかしらー行くわよ！
あっ二人とも病院は走っちゃ…
え…
これ…
ピチョン…

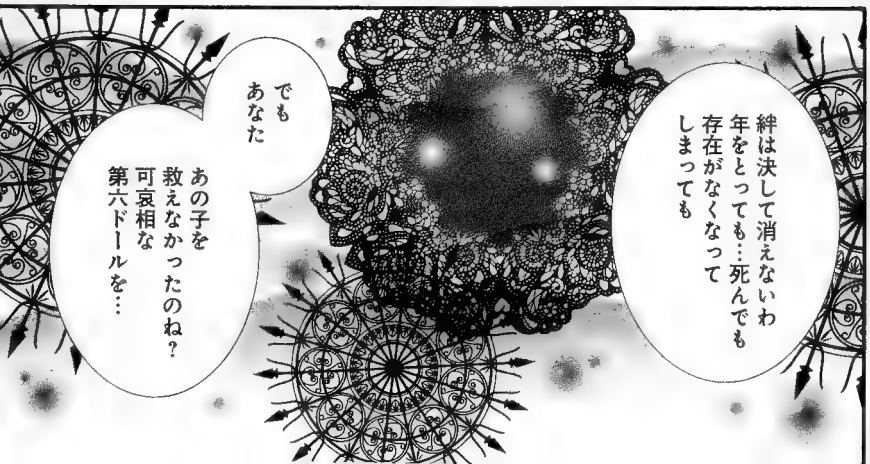
エレベーターの姿見が…
……
あれは…

苗床って……？
私をどうする気…
私が…雛苺のマスターだから…？
く……っ…
は…
放して…
で…でも…もう…
私の指輪は
もう……
砕けて…
あら
そうかしら？

自分の指を
よく見てみなさい
……
薬指のつけ根…
ほら今も
消えない
痕が残って
いない？
…ね？
わかる？
感じるでしょう
だって あなた
指輪を失ってから
雛苺のことすっかり
忘れてしまった？
痣みたいにね
それが契りって
ものなのよ
たとえ一度
約が解けたとしても
糸は簡単に
消えたりしないわ
うっすらと…けれども
ずっと残るのよ
……いいえ

忘れたことなんか
ないわ
あの子とのおしゃべりを
二人だけの秘密を…
私がおばあちゃんに
なったって……
忘れたりなんか
しない…


そうよ…
それでこそ…
だから白い悪魔も
あなたを選んだのね…


絆は決して消えないわ
年をとっても…死んでも
存在がなくなって
しまっても
でも
あなた
あの子を
救えなかったのね？
可哀相な
第六ドールを…

そうやって あなたが
美しい思い出に
浸ってる間に
あの子可哀相に
バラバラにされて
しまったんですって？
指輪がないから
自分のせいではないって
思ってた？
…ふふふ
ねぇ
償いたいと
思わない？
つ…
もう少し…
もうすぐなの
今はまだ
間に合わせの
依り代で
精一杯…
まかなかった世界の
新しい器は失った
器から器へ移るにも
力が…アストラルが
必要なのです
まいた世界のあの
有機の器へ戻るには
私はあまりに
傷ついてしまった

アストラルから
たくさんあるわ
素敵な苗床が
いっぱい…でも
それでも まだ
足りないの
まだまた
まだまだ どうしても
足りないの……
第六トールの
マスターだった…貴女
貴女を苗床に
すれば
そうしたら
あの器はまた
私を受け容れて
くれるはず
ねぇ
私のものに
なってくださいな
そうすれば
私を通してあなたは
あの子の器になれる
あの子の器は
私が 大切に

あの子をずっと
抱きしめてあげる
貴女の
かわりに――
雛苺……

チカッ
!
な…
何!?
やっと
見つけたわ…

めぐ……！

水銀燈…？

TALE 41
やっと
見つけたわ…
めぐ…!

TALE 41

あれが
水銀燈の
マスター…
まっ待ってぇ――
二人ともぉぉぉ
…ん？
何この
ガラス…
鏡…？

久しぶりね
水銀燈
えぇ…
本当に
あの日 鏡の中に
消えた貴女を
ずっと捜し続けて
きたけれど…
まさか同じ
病院で再会
するなんてね
えっそうなの？
どこをどう
捜してくれてたの？
……まぁ
色々よ
色々って？ どの辺？
まさか私が
nのフィールドにいると思って
ずっと見当違いの場所
ばっかり延々回ってたとか？
……
馬鹿ねぇ
水銀燈って意外と
抜けてるのよね
でも
そういうところ
結構好き
さすが
マスター…
いきなりあの
水銀燈を
手玉に…
大丈夫！
そこはカナも
負けてないよ！
イラッ…
にしても…

向こうがめぐちゃん
とするとあっちの
ショートの子は……
それにあの
後ろの…？
淋しかったの？
呼んでくれれば
かけつけたのに……
泣いてるとこ
見たかった
ふん ずいぶんと
元気そうじゃなぁい…
めぐ
今にも死にかけの
役立たずだった
くせに…
そこに隠れてる
ジャンクの末妹と
馬が合ったという
ことかしら

あぁ
あの子？ふふ
かくれちゃった
姉妹の中でも
恥ずかしがり屋なの…
知ってるでしょ？
あれが今の
雪華綺晶…？
カナ…
カナ！
今のうちに こっそり
あっちの子を
助けちゃいましょ
ラジャーかしら
みっちゃん！
黒い天使は
いつまでも私を
殺してくれないし
その点
白い悪魔は
話が早かったわ
こうして私に
自由に動ける
身体をくれたのよ
本来
力を奪うはずの
媒介…マスターに
力を与えた？
解せないわね
それは契約？
ふふ…
違うわ
約束よ

ずり…
そうですわ
お姉様
ピチカート…
……
毒の林檎も
手が届かないのなら
意味がない…
それよりも この子は
人魚に足をくれる
魔女を選んだのです
…ねぇ お姉様
ずり
ずり
貴女にも
罰が必要？
罰が…必要？

人形……！
雪華綺晶？
に…似てるです…けれどもっ
ここまでブサイクじゃなかったですよ…これではブサきしょうですぅ……
これは…
わっ…わぞろぞろ来るですよ？

少なくとも
あの子の尖兵には
違いないよ
やっぱりだ！
この子たち 糸で
操られてるだけだ
断てば
止まるよ
なっなんだ
コケオドシです
そういう
ことなら…
ホーリエ！
スィ
ドリーム

伸びやかに！
ローズテイル！
どんっ
――呆気ない…
ふふー
どんなもんです
ちょろいですぅ
いや…
呆気
なさすぎる
カキ

でも早く片が付いたのは
私たちにとっては
幸運だったわ
マスター不在の状況では
媒介からの力が得られず
力の行使に時間制限がある
そうだね……
早くジュンくんと
合流しないと
で…
でも…
もうみんな
気付いてるですよね？
ここって もうとっくに
病院とかでなく…
雪華綺晶の
n のフィールドの中
だわ
かな
です…
この廊下の先を
いくら行ったところで
ジュンの病院に
辿りつけるかどうか…
それどころか もう
とっくにジュンも
雪華綺晶に
どこかへ…
う…ん…
あの子の世界は
水晶のまやかしで
作られている
果てがないように
見えるこの廊下も本当は
ごく限られた空間
なのかもしれないよ
以前 捕らわれた時の
彼女の世界も
そうだったわ…
ここにいても
何も始まらないし
進んでみる他に
ないようね…
きみ お得意の
隠れんぼだよ
ジュンくんの匂い
とか
わからないかい
犬じゃ
ねんです
とにかく
行ってみましょう

匂い…はわからないけれど
大丈夫…あたたかい
無事でいて頂戴(ちょうだい)
ジュン
あはは！なァにこれ
弱すぎるわ

数ばかりいて
とんだ雑魚
じゃない
糸さえ断てば
ただの木偶だわ
きゃっ
ちょっ…
なっ
何コレッ
みっちゃん！
大丈夫
みっちゃん!?
あ…ありがと
カナ…
みっちゃん
この人形たちに
見覚えは？
襲ってきた
人形って
もしかして…
ううん…
違うわ…

カナ！
私は大丈夫
銀ちゃんのフォロー
してあげて
で…
でも
それに
あっちの子
助けてあげて
わかった
かしら…！
水銀燈！
連携しましょ！
いつまで遊んで
いるのかしら
貴女のマスターも
救い出すんでしょう？
うるさいわね
今…
今やろうと思ってた
って言うんでしょ
水銀燈の常套句
かしらっ
お部屋の
片付けのとき
だっていつも…
いちいち
カンに障る子ね
だから今！
水銀燈！
こっちこっち！
え…

なっ…
きゃっ
あははっ
惜しい――
だまされなかったぁ
めぐっ…！
貴女ねぇ
ふふふ 久しぶりに
すごい楽しい
学校なんて
行ってみると退屈
くだらない奴ら
ばっかりよ
ゲロ出そう
こうして

命を使って
できる遊びの方が
よっぽど楽しい…
ふふふ…
そう…
遊びましょう
お姉様…
このスキに…
ねえキミ…
キミ！
う…ん
大丈夫？
しっかりして
よかった
気がついた？
あ…
あなたは…
私
みっちゃん
ローゼンメイデン
金糸雀のマスター

立てる？
今のうちに
逃げましょ
う…
ここにいるって
ことはキミも
人形の関係者よね？
私は…
雛苺の…
以前のマスターで…
！
じゃあキミが
巴ちゃん…！
きゃっ
くん!!
あぶな…
どん!!
…っ
！
みっちゃん!?

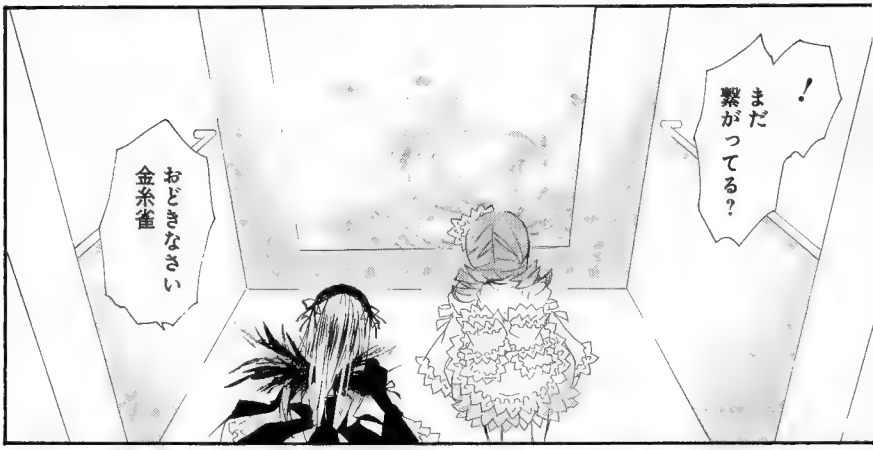
みっちゃん!?
あの子がほしい
この子がほしい
第二ドールの
マスターでも
かまいませんわ
いいでしょう？
お父様…
お父様…？
そう…
じゃあ残念だけど
またね水銀燈
みっちゃん！
みっちゃん!!
巴ちゃんとは
違っちゃったけど
いいお土産も
ちゃんとできたしね
みっちゃん!!
待ってて
今ッ…！
くっ
ダ…メ…
カナ…危ない…

私は…
いいからっ…
巴ちゃんを
でもっでもっ
みっちゃんっ
ゾ
ゾ
ゾ
みっ…
…カナ…
大丈夫…
強い子
私の…
金糸雀…！
ッ…
キッ

みっちゃん…ッ

めぐ…っ
パリ…

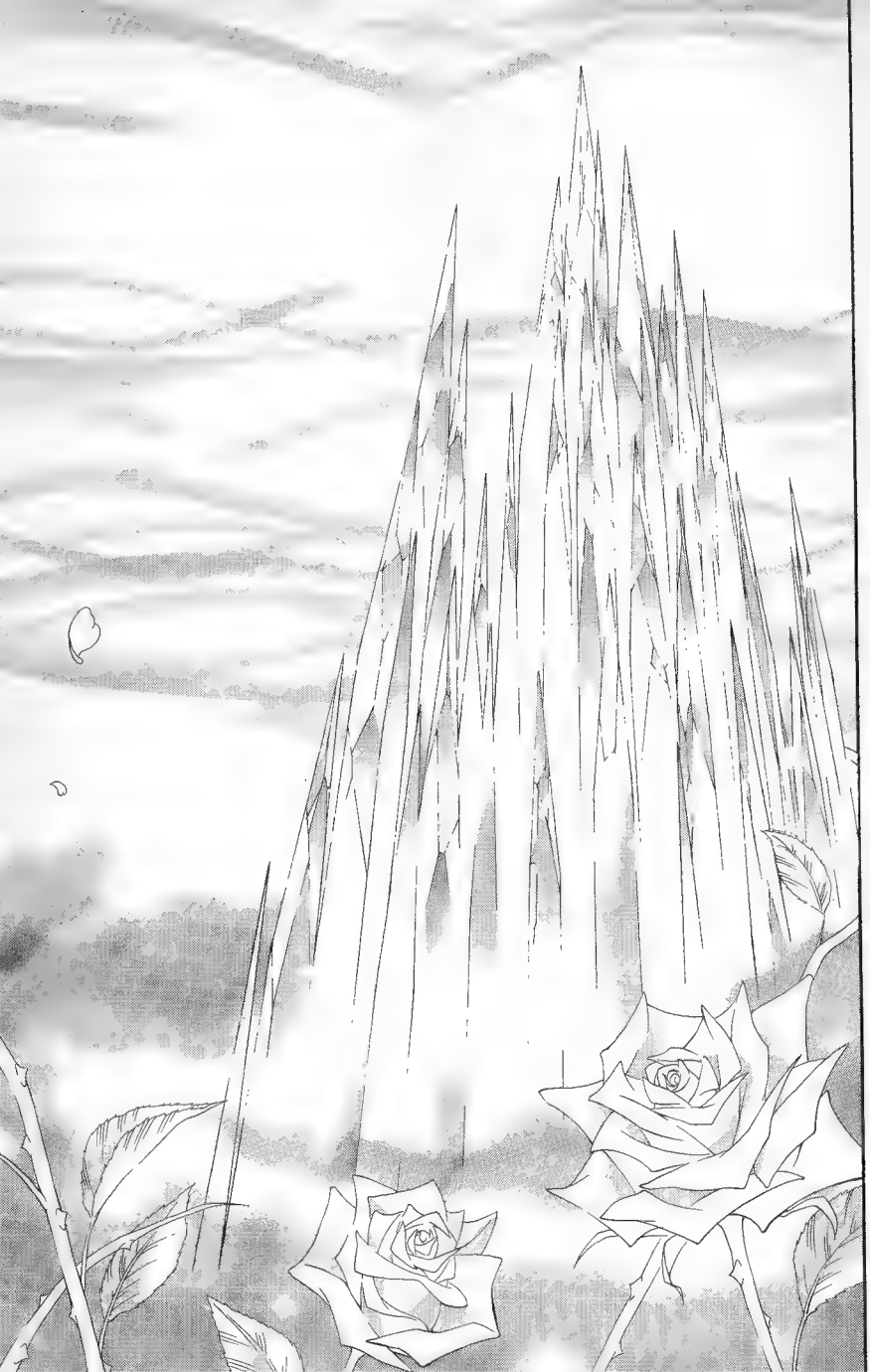
みっちゃん！
ばんッ
元の匣の中…
ばん
ばん
みっ…
ゆら…

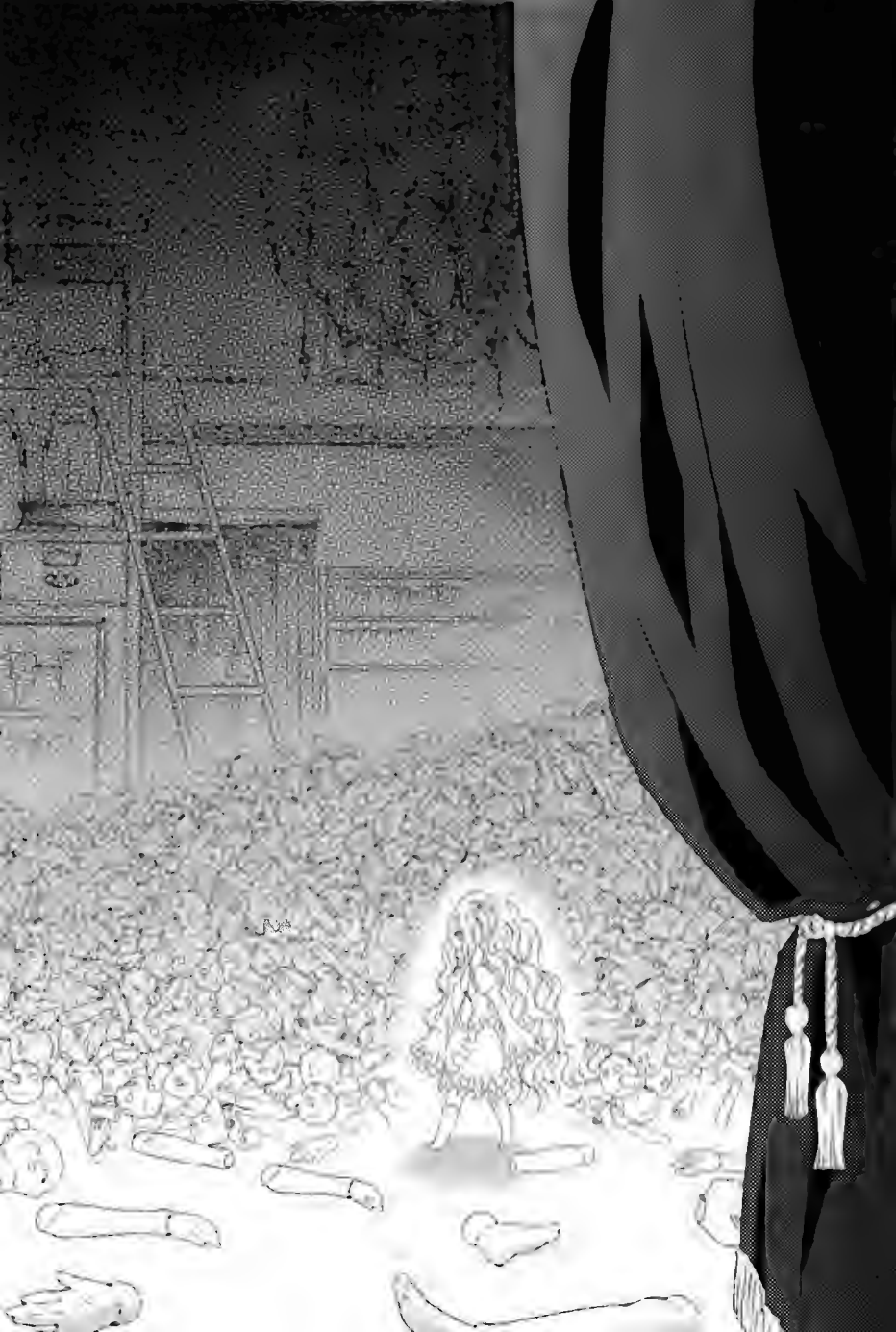

！
まだ繋がってる？
おどきなさい
金糸雀

逃がしはしないわ
…っ
あっ
ぐ…

！
何かに触れた……
…っ
えっ…？

真紅！
な…
なんなの
これ…
ここは…





お父様
お父様
ただ今
戻りましたわ
お父様…
私の
新しい身体(からだ)…
拵(こしら)えてくださって
いたのですか？
もうじき
ですか？
いや…

今は 別の子を
作っていたんだよ
お前の新しい
姉妹たちさ
うれしい
私の本当の
姉妹たちね
私のことを
愛してくれる
やさしい
姉妹たち…
次は いよいよ
お前の身体だよ
お前が集めて
くれたから
材料は揃った
お前にもうじき
有機の身体を
無機の器とは違う
他の姉妹の
誰とも違う
至高の…

うれしいわ
お父様
わたしの
お父様……

TALE 42

真紅!?
水銀燈?
なっ…なんなのこれは
どうして貴女が……
はいピッピー
うしろ
つかえてるですよー
とんっ
あれ…
ココって
どこです?

病院のエレベーターの中…かな
なんだぁ結局同じところをぐーるぐーるですよー
翠星石蒼星石…
はっ
なんなの…
気持ちわるぅいどブサイク真紅と手なんか繋いじゃったわぁブサイクがうつるぅ
こっちのセリフよ性悪がうつるわ
ちょっとベリーベル！貴女ジュンの病室へ向かっていたのではなくて!?
ひぃ
ろぼっ
え…？
あっ！

巴…
カナチビ！
いったい何が
あったですか？
だっ大丈夫？
ケガは
ないかしら？
ええ私は…
よかった…
貴女だけでも
みっちゃんに
頼まれたもの…
貴女のこと…
……
みっちゃんさん
が…？
……

…そうだったの…
まさかみっちゃんさんまで…
……
雪華綺晶は最初からこうして僕たちを一か所におびき寄せるつもりだったってことか…
この雪華綺晶の世界の中に…
私は…学校にいていつの間にかここへ……
長い廊下を走るうちにだんだん景色がヘンになっていって
ヘンな景色…たしかにこの病院もおんなじです
なんだか…作り物みたいな
たくさんある病室のドアもどれも開かなかったですよ
そうだったわね

長く見える廊下も
ホーリエの光が
反射しているところ
までしかない
たしかに ここは
ヘンなところ…
人間の世界をよく知らない人形(ドール)が
表面だけを繕(つくろ)ったハリボテ…
舞台では「ガワ」と呼ぶそうね
これが あの子の
作り出した
まやかしの世界…
……
作られた…
まやかしの…
まるで
あの時みたい……

翠星石！
…星石…
どうかしたの？
な…
なんでもないです
それにしても
この沢山の人形たちは
なんなのだろうね
雪華綺晶に
どこか似ている…
今のあの子のボディの
レプリカかしら
みっちゃんも小さな人形に
襲われたと言っていたけど…
おそらくこの子たちとは
また別の……
…そうだったわ
水銀燈は
その時そばに
いたのよね？
姿を見たんでしょ
どんなドールだった？
……

ねぇ
いつから
ここはパーティー会場に
なったのかしら
まったく
くだらなぁい
これぞ時間の無駄
というやつよ

せいぜい
ぜんまいが切れるまで
おしゃべりしてなさいな
待って！
水銀燈
結局 貴女の
マスターもまた
捕らえられたのでしょう？

というか…これで
無事な現マスターは
もう一人も…
この状況では
誰も応戦すら
できないね…
おあいにく
私はマスター無しでも
力を行使できるのよ
今が長引いて
不利なのは貴女たち

私の力が
欲しいなら伏して
頼んでごらんなさいな

なんですって？

馬鹿のひとつ覚え
みたいに協力協力と
それは貴女たちの都合よ
おばかさん

おばかって誰よ！

ちょー！こんな時に
アリスゲーム
おっぱじめるなです！

何!?

水銀燈の
言うとおり
かしら

仲良しごっこはおしまい
そんなことに
現(うつつ)を抜かしているうちに
みっちゃんは奪われてしまった…

もう私も
時間を無駄にしたく
ないかしら

ピチカート
行くかしら

金糸雀！

待つですよ
金糸雀
冷静に考えるです
ここで今
一人になるのは…
それより みんなで
私たちは
いつだって
本当は一人だわ
バサ
金糸雀…

ひとつ
思い出したわ
水銀燈
さっきの
人形のこと…

私が見たのは
――目よ

ほんの一瞬
目があった
だけだったけれど

貴女のマスターが
感じた違和感は
きっと似たものね

あれは
人形であって
人形ではないもの

少なくとも
薔薇乙女（ロゼ・メイデン）の姉妹では
ないわね
グロテスクなジャンクよ

どうせ末妹（まつまい）が
絡んでるのでしょう
けれど…

水銀燈

なによ

もしかしてカナについてきてくれたの…？
私の話聞いてた？
貴女って昔からそうだもの変なとこばっかりお姉さん
だっ…だから違うわよ聞きなさいよ
ふふふ…もうどっちでもいいかしらー
ふふ
ち…なんなの
……
…あら？
ぴたり…
メイメイ？
ピチカート？どうしたの

進めない？
行きどまりって
ことかしら
なんだかヘンね
ピチカートの光が
反射して…
ギ…
……？
水晶のカベ…
!?

ミつけた…
見ツケた…
うふふ…
お姉さま
びっくりされて
いるわ
わたしの
新しい姉妹…

意地悪な
お姉さまたちは
もういらないの
新しい姉妹たちが
私には
いてくれるもの
あれは…？
ぺた…

才姉さま…

オ姉さマ…
金糸雀
大丈夫かしら…
戻ってくると
良いのだけれど
ああ見えて
姉妹の中では
一番頑固ですからね…
まあカナチビも
水銀燈も最初から
頼ってないですからねっ
私たちだけで
へのへのかっぱな
わけですよ
それにしても
マスターが見つからない
ことには…
チャラヘイ
です！
プーン

……
あの…
あの…
私…
いいえ
巴
それは
駄目…
……
？
なんの話
です…？
でも…
私…

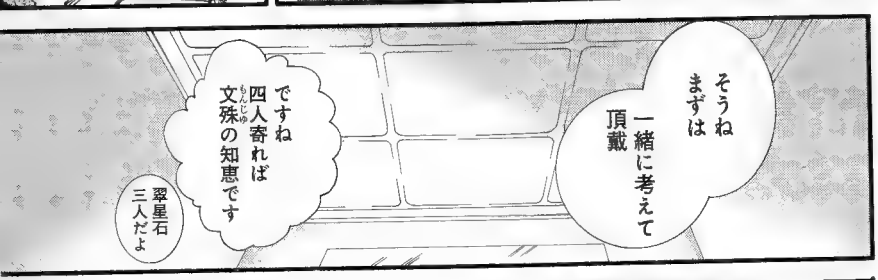
ごめんなさい…
私のせいだわ
私がいたから
みっちゃんさんが
捕われてしまった
あなた
あの子を
救えなかった
のね？
可哀相な
第六ドールを…
私のせいで……
雛苺だけじゃなく
他の子まで
悲しませて……わ
私が…
いなくなっていれば…
こうして助かっても
なんの役にも立てない
のに…
巴

雛――
そんなことは
ないわ
あの子も きっと
そう言っている
わかるでしょう
ベリーベルが
必死に私たちを
連れてきたのは貴女を
助けたかったからよ
チカ
チカ

私ね…少し前
桜田くんを責めた
ことがあったの
目先のことばかりで
焦りすぎて
周りが見えてない
って…思って
でも私もまるで
同じだったね

もしかしたら
誰も みんな
同じなのかも
早く前に
進みたくて…
もがいて足掻いて
生きてる限り
がむしゃらに…
……

私に何か
できること
あるかな


そうね
まずは
一緒に考えて
頂戴
ですね
四人寄れば
文殊の知恵です
翠星石
三人だよ

とにかく この状況を
打開するには
雪華綺晶との衝突が
避けられないだろうね
僕たちの力が
制限なしに使えれば
大分違うんだけど…
僕たち三人とも
マスターが同一なのが
今は痛手だ
たしかに同一…
みんな同じく
ジュンがマスターですぅ
桜田くんを助けるにも
桜田くんの力が
必要って…
ジレンマね
……

ジュンを助けるためには
ジュンが…
……そうね…
…あれ？
なんか翠星石(すいせき)いま
閃(ひらめ)きましたよ
僕も
ちらっと
そうだわ…
できるかも
しれない…
え？
なぁに？
思い出したの
私たちのマスターは
同一人物だけれど
同一人物じゃない…
そう
もう一人
いたんだよ
うわっ…もう
こんな時間かよ
ALARM
7:40

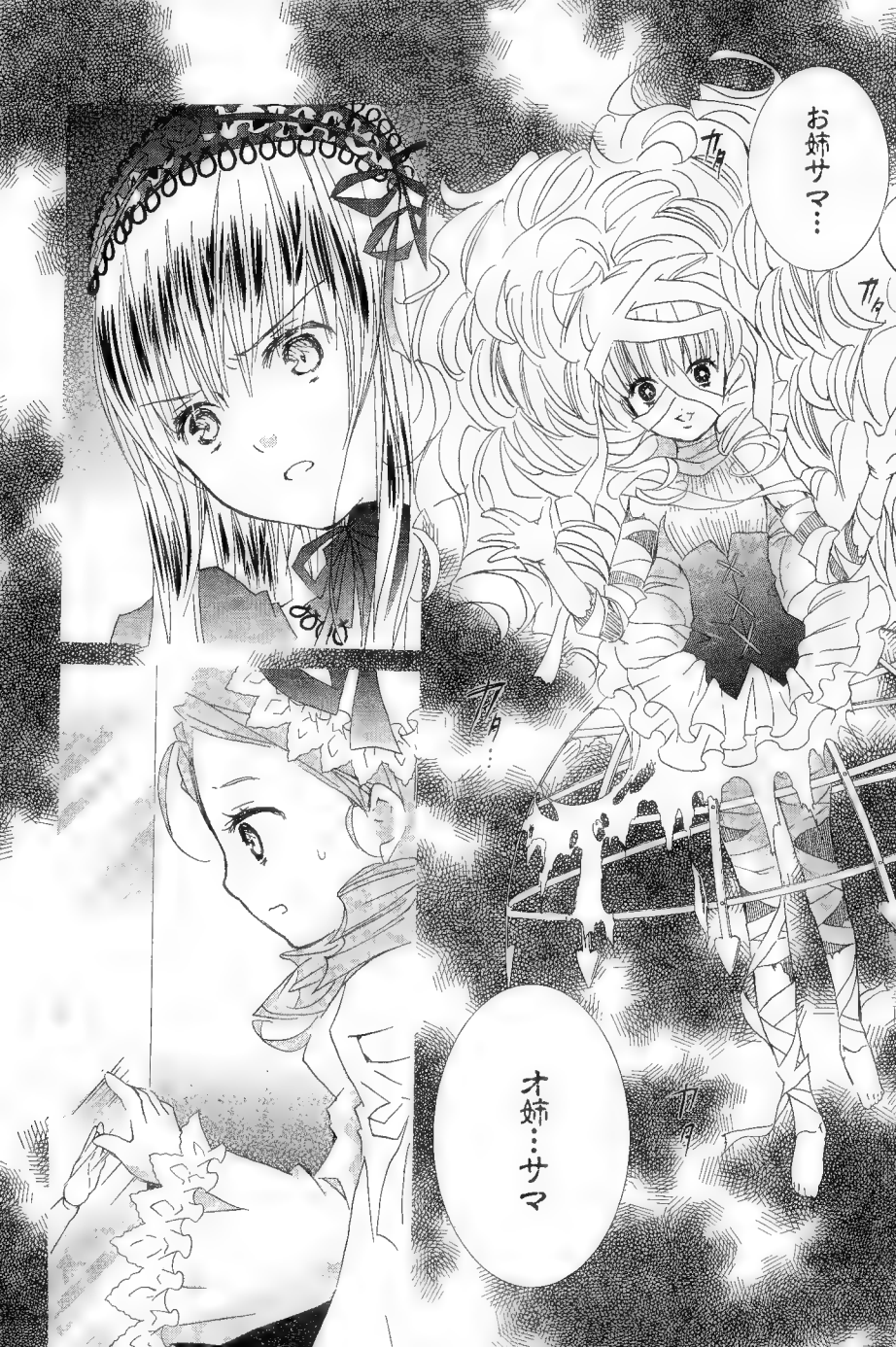
やばい
遅刻
遅刻
学校行く前に
今日は店に顔
出さなきゃだ…
あっ
ピピピピ
メール？
えっ…
え――っ
斉藤さんも
遅刻かよ――
店開けられないじゃ…
…つくしゅっ

…誰かウワサでもしてんのかな

な――んか今日は
めんどくさいことが
起きる予感がする…

つくしゆっ

TALE 43


お姉サマ…
カタ
カタ
カタ…
オ姉…サマ

お姉…さま…？

ソウ！
ワタシは
イもうと～～～
オニんぎょウ
サァ――ん！

あはっ…
妹ですって
えっ…どっ
どういうこと
なのかしら？？
まさか……
お父さまの
隠し子…？

こんなジャンク
お父さまは
作りはしない
そう…
ようやく
見えてきたわ
違和感の正体

！じゃあ
みっちゃんの家に
いたのは この子…
お姉サマ
オ…オ——
ワタッ
ア
ギ…
ピッ
ピッ
モォ…オ…ゴェ
トォ——…
ギ
ビキ
ビキ
!?

ガシャ
くっ…
オ…オ
オ姉サマ
オ

オ姉サ…ま
ギュッ…て
してェ～～～ェ…
なんて
醜いの…
ジャンクに
作られた
ジャンク…
ズットォー…
イッショニィ～
水銀燈!!
ア
ア

ピン
水銀燈
しのいで…
フェルマータ!
くっ…

オ…茶
オ茶のジカン
ダ…ワァ

あら
真紅のマネ?
上手上手
水銀燈
ヘンなこと
言っていい?

ダメよ
あの子は
やっぱり
姉妹なのよ
ニセモノの世界の
ホンモノ

はぁ？
どういうことよ
あの子は
きっと…
まさか
ここにいる私たちが
ニセモノに
なるってこと…？
雪華綺晶が
私たち姉妹を
模して作った 新しい
姉妹なんだわ
そ…そうなっちゃう
気がするかしらっ……
わわ…
あれが
まやかしの世界の
正しい住人——
だとすれば…
と…とにかく この世界に
長くいるのはきっと
危険だわ
私たちだけじゃない
他のみんなも…
きゃっ

ダァイ好キ？
オ…姉…

ちょっと…
みっちゃんの指に
噛みついたんですってね
お料理も
大変そう
だったんだから
ここからは
お姉さまたちの
お仕置きかしら…

勝手に
数に入れ…
連携？
行くわよ水銀燈
連携かしら！
あの子の
腕の動きを
ちょっとの間止めて
それと
耳を塞いで！

この世界の説明は
ちょっと難しい
ここは
「まかなかった
世界」
ローゼンメイデンの
存在しない場所
まいた僕…
元気に
やってるかな
送信エラー
メールを送信できませんでした
[userunknown: あて先不明]
アドレス
残ってればメール
送ってみるのにな
二つの世界を結ぶ点は
もう消えて
しまったんだろう
もらった
メールも全部
消えてるし
それでも
時々
彼からの あの
初めてのメールを
思いおこす
記憶には まだはっきり
残っているから
そして
あれは夢じゃなかったと
確かめるんだ

ジュン
真紅は……
たしかに ここに
いたんだと
BOOKS
TAKIWA
テメ
おっせーよ！
バカ桜田

何年このバイト
やってんだよ ウチは
10分前オープン
マストだろうがよぉー
すみません…
たまたま俺が
朝から出だったから
良かったってもんだけど
オメーなぁ——
ったくよー
俺がいないとやっぱ
始まんねーなー
この店はよー
店長…
いつもは自分が
遅刻してくる
クセに…
これ しばらく
言われるな
あークソ
すみません
でした…
あ 斉藤ちゃんは
いいからね
相変わらず
大学に行き
バイトに行き
アホ店長は
まあ
相変わらず

まいいや お前とりあえず何か飲みもん買ってこい
アレだアレ！テレビのやつ
？コーヒーですか
はぁ…
ちげーよバカ俺コーヒー飲めねーだろしょうがジンジャーとかCMやってんだろー
なんだろうねしょうがジンジャーって……
ね…男マンみたいな…
女ウーマンみたいな……
あっ私も買い出し行ってきまーす
男マンレディだと おねぇっぽい気がする！
同じバイトの斉藤さんも相変わらず
ブレないかわいさだ…
劇団の手伝いもぼちぼち続けている
学業優先でひとまずは卒業を目標に

そろそろ
就職活動らしきものも
考えないとか？
こんなんで僕
社会出て
やってけるのかな
この先の人生
どんな道が
待っているんだか…
世界は
選びとれるのだわ
誰の手にも
真紅…
ねえジュンくん
ん？
なあにソレ
お尻んとこの
…カギ？
ああ……ゼンマイ
ストラップに
してるだけ
へぇ――
何か渋いね
ホンモノっぽい
しかし
機種古いねー
いーの僕は
ずっとケータイで
ははは
消えなかった薇と

あいつ あんまり かわいくないけどね。
なんとなく 目につくところに いつも置いてる
僕の手元に残った あの人形は
真紅たちと 繋がれるような 気がして…
また いつか あの世界と
ん
22:05
新着メール：1件
メール受信中...

前は姉ちゃんからの
メールばっかり
だったけど
大学の友達
劇団の仲間
それに斉藤さん
つきあい
増えたよなぁ…

22:45
メール
おーい
明日の講義は出とけー
はいよ——
返信
機能

ま…リア充とか
そういうのとは
程遠いけど
ごろっ

でもきっと
真紅が
僕のところへ
来なかったら…
あの頃と何も
変わってなかった
だろうな…

お茶を
いれなさいジュン
ジュン

貴方が
覚えていてくれれば
いつだって
いつか また
会えるだろうか
私たちは

貴方の
永遠のお人形
僕の人形たち

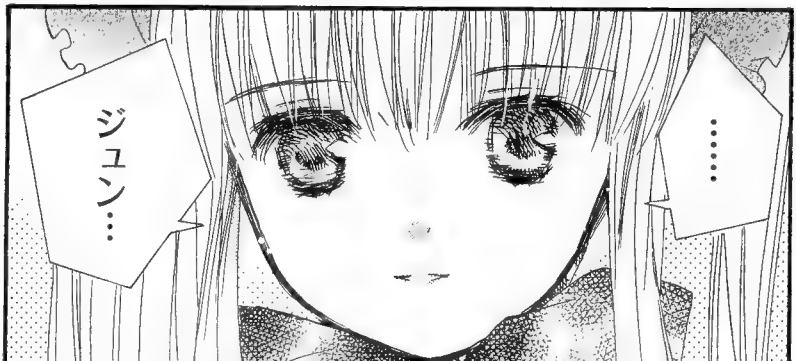
あ…あれ
なんだ
寝ちゃってた
わっ もう
こんな時間か
珍しいな
テレビ通話
とか…
テレビ通話
「着信中」
え…となんだ?
どこ押して
出るんだっけ?
……
…知らないな
こんな番号…
プ
誰だ…?
ちょっとトモエ
これで本当に
話ができるの?
見えないですよ
蒼星石
ちょっとしゃがむ
ですぅ
通話中
音量5
00:00:08
MENU
代替画像
保留
画面切替
カメラ切替
あ…待ってみんな
ここがレンズ
そこ映らないから

な…
ちょっと貴女たち
もっと下がって頂戴
よく見えないわ
ふむふむ
これがレンズ
ですう？
見えますかー
ジュン――？
この…
声…
手で塞い
じゃってるよ
翠星石
あ…
マスターだ
これで向こうと
話ができているの…？
あっ
映った！
映ったですよ

おっ…おっまっ
お前たち…!?
わっ
声がする
ですよっ
おーい
ま…まっ
マジかっ…!?

わ――でかジュンです
ホントにでかジュン
ですよっ
おーい

久しぶり
マスター


……
ジュン…

……っ
……っ…
…い…いかん
夜中にでかい声出した
ど…ど…
どうしたん…だよ
急に…
なんで？
もうそっちの世界とは
繋がらないハズじゃ
……
だいたい
今かけてる携帯は
いったい誰の…
桜田くん？
あなたが
大人になった
桜田くん？
えっ…？

久…しぶり
あ…
初めまして…
なのかな…
わかりますか
――わ…
わかる…
わかる
柏葉さん
でしょ…
そう
近所に住んでた
幼なじみの…
中学の時は
たまにプリント
届けてたりとか…
そう…
よかった…
まかなかった世界に
私いたのね
そ…
そりゃあ…
なんで
こんな
ドキマギしてるんだ
僕……
か…変わってないね…
じゃなくてその
（当然か…）
な…なんで…？
柏葉と真紅たちが
一緒に？
まいた僕は？
……
私が話すわ
巴

まいた僕…が…？
……――嘘だろ
マスター
もちろん嘘よ…
とでも言いたい
ところだけど
ホントにホントの
ジュンの
ピンチなんですぅ～～～っ

嘘だろ…
だって あいつ
僕なんかより
ずっと……
今までだって
僕の方が
あいつに
助けられて…
ジュン
貴方しか
いないの
お願いよ
まかなかったジュン
力を貸して…

……わかった！

僕は　どうすれば
いい？

やったあ！
ですぅ！

そうね
まずは…

とりあえずマスターには
ここにいる僕たちと
合流してもらわ
ないとね…

そうね
話はそれから
なのだわ

は…？
はあ!?

なっ…

合流ったって…
どうやってそっちに
行けばいいんだ？

そもそもこの電話
どこからかけてるんだよ
まいた世界か？

それは人工精霊を
使って…

…から…

真紅
えっおい
なんだよ
こんな時に

えっ…
ちょっ！
…って…

おいっ
おーいっ

……？

ぞ…
なっ…
あ
あ!?

to be continued

初出◆「週刊ヤングジャンプ」H23年39号、43号、47号、51号、H24年3号、9号

ヤングジャンプ・コミックス
ローゼンメイデン7

発行日 2012年5月23日[第1刷発行]

著　者 ◆ PEACH-PIT
©PEACH-PIT 2012
編　集 ◆ 株式会社ホーム社
〒101-0051　東京都千代田区神田神保町3丁目29番　共同ビル
電話　03(5211) 2651

発行人 ◆ 太田富雄

発行所 ◆ 株式会社集英社
〒101-8050　東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
電話　03(3230) 6222 [編集部]
03(3230) 6191 [販売部]
03(3230) 6076 [読者係]

デザイン ◆ ミルキィ・イソベ+明光院花音(ステュディオ・パラボリカ)
プリンティング・ディレクター ◆ 森岩麻衣子+高本晃宏(凸版印刷株式会社)

Printed in Japan

製版所 ◆ 株式会社昭和ブライト
印刷所 ◆ 凸版印刷株式会社

造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁(本のページ順序の間違いや抜け落ち)の場合はお取り替え致します。購入された書店名を明記して、集英社読者係宛にお送り下さい。送料は集英社負担でお取り替え致します。但し、古書店で購入したものについてはお取り替え出来ません。
本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。また、業者など、読者本人以外による本書のデジタル化は、いかなる場合でも一切認められませんのでご注意下さい。

ISBN 978-4-08-879370-2 C9979

◎この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件などにはいっさい関係ありません。